

公開シンポジウム

～iPS細胞が未来を拓く～

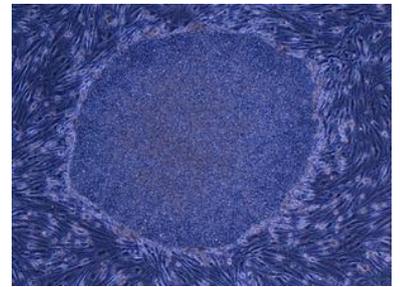
第10回科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム(STSフォーラム)が10月6日から3日間、国立京都国際会館で開催されます。フォーラムには世界各国から著名な科学者、政治家、企業家等が集まり、「科学技術の光と影」をテーマに白熱した議論が展開されます。

これに先駆けて開催される公開シンポジウムでは、昨年、京都大学の山中伸弥教授がiPS細胞の研究でノーベル賞を受賞されたことを記念し、iPS細胞の活用など生命科学の分野の第一線で活躍されている国内外の研究者にご講演をいただきます。

日時

平成25年 10月5日(土)

14:00～16:40



ヒト iPS 細胞のコロニー
(京都大学 iPS 細胞研究所提供)

会場

京都商工会議所講堂(3階)

京都市中京区烏丸通夷川上ル

参加費

無料(同時通訳付き)

定員

先着 200名 (参加を希望される方は事前の申込みが必要です)

※申込方法については、裏面をご覧ください。

基調講演

I 「iPS細胞を活用した医療の可能性と倫理」

京都大学iPS細胞研究所副所長 中畑龍俊教授

II 英国国立生物研究所 グリン・ステイシー博士による講演

※演題については、生命科学の分野で予定しています。

【主催】 科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム (STSフォーラム) 支援京都実行委員会
(京都府、京都市、京都商工会議所、(公財)京都文化交流コンベンションビューロー)

【共催】 独立行政法人科学技術振興機構 (JST)

【後援】 NPO法人STSフォーラム、(公財)京都高度技術研究所、(一社)京都経済同友会、(公財)関西文化学術研究都市推進機構、(公社)京都工業会、(一社)京都発明協会、(公財)京都産業21、京都リサーチパーク株式会社、(公財)大学コンソーシアム京都、京都大学

講師プロフィール

基調講演Ⅰ 京都大学 iPS 細胞研究所副所長 中畑龍俊教授



専門は疾患再現研究。

昭和45年に信州大学医学部医学科卒業。平成3年 信州大学医学部小児科助教授、平成5年 東京大学医科学研究所癌病態学研究部教授、平成11年 京都大学大学院医学研究科発達小児科学教授などを経て、平成22年に京都大学 iPS 細胞研究所副所長 臨床応用研究部門教授に就任。小児科医として、長年にわたり子どもの難病を研究し、厚生労働省で幹細胞を利用した臨床研究の指針づくりに携わるなど、生命倫理にも詳しい。

基調講演Ⅱ 英国国立生物研究所細胞生物学部長 グリン・ステイシー (Glyn Stacey) 博士



専門は細胞生物学及びがん研究。

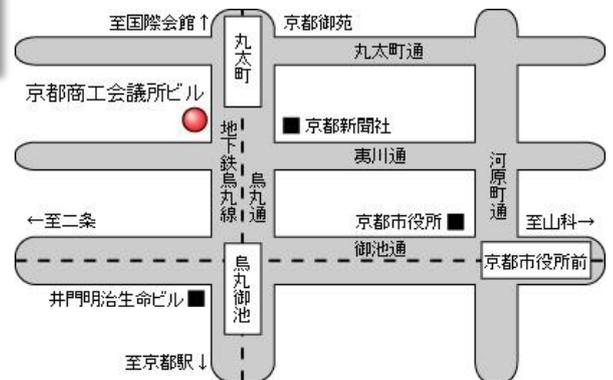
国立生物研究所では、人間と動物細胞の使用をもとにした新薬や新療法の質と安全性に関係する細胞生物学の問題について広く研究を行っている。また、イギリスの保健省及びWHO（世界保健機構）のアドバイザーを務め、細胞をもとにした医薬品や生物製剤製造のための細胞基質の使用に関する国内の実施規定及び国内外の規制ガイド案を作成するためのワーキンググループの主要メンバーでもある。

会場アクセス

京都商工会議所講堂（3階）

JR 京都駅・阪急烏丸駅より一地下鉄・烏丸線／国際会館行『丸太町』駅下車 南6番出口が当ビル地階に直結

※自転車およびバイクの駐輪場はございません。
公共交通機関をご利用ください。



参加申込

定員 先着200名

※参加を希望される方は事前申込みが必要です。
※お申し込み受付は10月2日（水）まで（定員に達し次第、締め切ります）
※シンポジウムに参加ご希望の方は、電話、FAX、メールにてお申し込みください。
FAXの場合は、お名前、お電話番号をご記入の上、この用紙を送信してください。

- 申込み先 京都府府民総合案内・相談センター
電話：075-411-5000、FAX：075-411-5001
E-mail：411-5000@pref.kyoto.lg.jp
- 必要事項 氏名（ふりがな）、電話番号

お名前(ふりがな) _____ お電話番号 (_____) _____

※参加票等は発行しません。特に連絡がなければ、当日会場へお越してください。
※定員を超過した場合、御参加いただけない方に御連絡をします。お電話番号の記載をお願いします。
※諸般の事情により、講師、講演内容が変更となる場合がございますので、あらかじめ御了承ください。